

平成24年9月25日

## JAバンク（JA／JA北海道信連）様からの寄贈により 6駅のAEDを取替えました

JR北海道では、お客さまに安心してご利用いただけるよう、主要駅にAED<sup>\*</sup>を設置しております。当社は、JAバンク（JA／JA北海道信連）様から同会の地域貢献活動の一環として、平成21年度からAEDを寄贈していただいております、今年度も過日6台を寄贈していただき、6駅のAEDを取替えましたので、お知らせいたします。

併せて、帯広駅で執り行いますAED贈呈式の日程についてもお知らせいたします。

★ご寄贈いただく団体 JAバンク（JA／JA北海道信連）

★取替駅および台数 星置駅、苫小牧駅、東室蘭駅、釧路駅、帯広駅、函館駅に各1台ずつ 計6台

※「AED」とは

自動体外式除細動器（Automated External Defibrillator）の略で、心臓の拍動が突然正常なリズムを失い、全身に血液を送り出せない状態に陥った時に、心臓に電気ショックを与えて正常なリズムを取り戻すための医療機器です。

### ～帯広駅でAED贈呈式を開催～

★日時 平成24年10月2日（火） 10時45分から

★場所 帯広駅東コンコース

★出席者	JA帯広かわにし	代表理事組合長	有塚 利宣	様
	JA帯広大正	代表理事組合長	川岸 修	様
	JA北海道信連	帯広支所長	大條 慎司	様
	JR北海道	釧路支社長	大江 秀夫	
	JR北海道	帯広駅長	土島 一幸	
	JR北海道	帯広駅副駅長	道西 博英	

★式次第  
1. JAバンクより経過報告  
2. AED贈呈  
3. JR北海道より謝辞



▲(参考) 昨年度、滝川駅でのAED贈呈式の様子

※帯広駅以外のAED贈呈式については、別途お知らせいたします。